

「自己を見つめる」

を重点とした道徳科の授業づくり

第5学年 道徳科学習指導案

1 主題名「自分のよさをみつめて」

(内容項目：A-4 個性の伸長)

2 教材名「たからもの」

(出典「小学道徳5 はばたこう明日へ」教育出版)

3 主題設定の理由

児童が自分らしい生き方について考えを深め、将来にわたって自己実現を果たせるようにするためには、道徳科を通して「個性の伸長」を図ることが重要である。高学年においては、自分自身の長所と短所の両面を見極め、短所を課題として改善していく努力も重ねつつ、長所を伸ばしていくことが大切である。令和6年度の全国学力・学習状況調査での「自分には、よいところがあると思う」という意識調査に「当てはまる」と回答をした児童の割合を見ると、北海道は40.7%で、全国よりも2.7ポイント低いという結果であった。本学級でも、年度当初に行った同じ質問を含む道徳アンケートの結果は「そう思う」が18.2%、「どちらかというと思う」を含めた肯定的な回答の割合は77.3%と、北海道平均と比べても低いものであった。そこで本授業では、自分の短所に目を向けてしまう人間の弱さに共感しつつ、自分の長所を知ることのよさに気付かせ、長所を伸ばしながら短所を改めることをとおして前向きに生活していこうとする態度を育てたい。

児童が自分の長所に目を向けられるようにするため、誕生日の子にバースディカードを贈り、誕生日の友達の「すてきなところ」を書く活動を行ってきた。そのために、毎日の授業や学級活動の中では、友達のできないことではなく、頑張っていることや長所に目を向けるように伝えてきた。また、運動会や学習発表会等の行事に取り組む際には、「自信をもって頑張ったと言えることをつくろう」と声をかけ、振り返りを書かせる際には、できたこと・全力で取り組めたことを多く挙げさせ、自分の頑張りを認めるように指導した。これらの取組を通して、友達のよさに目を向けたり、自分の課題に向き合ったりしようとする児童が増えてきている。しかし、自分の長所や頑張りについては「ない」「思いつかない」と言ったり、自信をもって記述することができなかつたりする児童が多いことから、本授業を通して、自分のよさを知ることの意義を問いかけながら、それを伸ばしていくことについて考えを深め、今以上に自分の長所・短所と向き合うことができるよう指導したい。なお、本授業終了後には、友達のよさを伝え合う「よいところ見つけ」の活動を設定し、お母さんの声かけによって変わっていった「わたし」のように、友達から自分のよさを伝えられることで前向きに努力しようとする気持ちを育てたい。

本教材は、自分のよさを自覚することができず、自己肯定感の下がっている「わたし」(りえ)が、お母さんの言葉や日記帳から自分のよさに気づき、苦手なことも克服していこうと努力する姿が描かれている。本授業では、事前アンケートを通して自分の個性を知り、伸ばしていく意義を問いかける。展開の場面では、短所ばかりに目を向けてしまう「わたし」に共感することで、人間理解を深めさせる。次に、お母さんの気持ちに着目さ

せる発問を通して、長所に気付くことのよさについて考えさせる。さらに、中心的な発問として、自分の長所を知ったことで努力し苦手なことも克服しようとする「わたし」の姿から、長所を自覚し、それを伸ばしていくことのよさについて、自分の生き方を振り返りながら考えさせることで、価値理解・他者理解を深めさせる。

4 本時のねらい

自分の長所に目を向けることで気持ちが前向きになり、苦手なことにも挑戦しようとする思いが増している「わたし」の姿を通して、自分の長所を知り、それを伸ばそうとする道徳的態度を育てる。

5 本授業のポイント

- ①事前アンケートを通して長所と短所について考えることで、自分のよさを自覚できない「わたし」に共感し、自分との関わりで考えを深められるようにする。
- ②お母さんの気持ちに着目させる発問を通して、長所に気付くことのよさについて考えさせるとともに、その長所を大切に伸ばそうとする「わたし」についての発問を設定し、長所を伸ばすことについて考えを深められるようにする。

6 本時の展開

| | 学習活動 ○主な発問 ・予想される児童の発言 | □留意点 ◇評価の観点 |
|----|--|--|
| 導入 | <p>1 長所と短所についての事前アンケートの結果を見て、本時の学習のめあてを知る。</p> <p>○ 自分の長所だと思っていること、短所だと思っていることはなんですか。(事前アンケート)</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px auto; width: fit-content;"> <p style="text-align: center;">自分の長所をのばしていくと、 どのようなよいことがあるか考えよう。</p> </div> | <p>□児童が Google Forms で回答したものを提示し、人間は長所も短所も併せもっているのだと伝える。</p> <p>□長所を知り、それを伸ばす意義を問いかけることで、ねらいとする道徳的価値への方向付けをする。</p> |
| 展開 | <p>2 教材文「たからもの」を読み、内容を整理する。</p> | <p>□登場人物や内容を簡単に板書し、全員が話の流れを理解できるようにする。</p> |

| | | |
|-----------|--|---|
| <p>展開</p> | <p>3 教材文「たからもの」について考え、話し合う。</p> <p>○ 算数のノートを放り投げたとき、「わたし」はどのような気持ちだったでしょう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・どうすればいいかわからない。 ・わたしにはよいところがない。もう何もかもいやだ。 ・わたしは何をやってもだめ。 <p>○ お母さんは、どのような思いで「わたし」の長所を伝えてくれたのでしょうか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「わたし」に自分のよいところを知ってほしいと思ったから。 ・落ちこんでいる「わたし」を励ましたかったから。 ・「わたし」のねばり強さによって、乗り越えられると思ったから。 <p>◎ 自分の長所をのばしていくと、どのようなよいことがあるでしょう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分に自信をもつことができる。 ・前向きな気持ちになって、「やればできる」と思ってがんばることができる。 ・努力しようとする気持ちが生まれ、苦手なことにもちよう戦できるようになる。 | <p>□事前アンケートを行ったときの、短所は言っても長所は自信をもって言えないという体験を想起し、「わたし」の置かれた状況に共感させることで、自分との関わりで考えを深められるようにする。</p> <p>□「わたし」に共感させるだけでなくお母さんの思いを想像することを通して、長所に気付くことのよさに目を向けられるようにする。</p> <p>□自分の長所を知った「わたし」が、その長所を大切にしてい伸ばそうと努力している姿に注目させることで、価値理解を深めさせる。</p> <p>◇自分の長所に目を向けることで気持ちが前向きになった「わたし」の姿を通して、自分の長所を知り、それを伸ばしていくことについて、自分との関わりで考えることができたか。</p> |
| <p>終末</p> | <p>4 学習の振り返りをする。</p> <p>○ 今日の授業を通して考えたことを書きましょう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・短所ばかりに目を向けずに、長所をのばそうという気持ちを大切にしたい。 ・自分の長所をのばすと自信をもつことができるから、もっと自分の長所に目を向けるようにしたい。 ・長所をのばしていくと、短所もこく服できると思った。 <p>5 今後の学習活動についての予告を聞く。</p> | <p>□1週間後に、友達「よいところ見付け」の活動を行うことを予告する。</p> |